

## 令和7年度事業報告書

対面型の就職イベント等について計画どおり実施したほか、岩手日報タブロイド版、いわて就職マッチングラジオにより、求職者の親世代に向けた県内企業の認知度向上に取り組みました。

就職活動交通費等支援制度については、昨年度に引き続き首都圏を中心にSNS広告を実施しました。

資産の運用については、資金運用計画に基づき運用を行い、事業執行に必要な利息収入を確保しました。

### 1 就職イベントの開催

#### (1) いわて就職マッチングフェア（県内）

No	名称	開催日	出展企業	参加者	備考
1	Ⅱ	令和7年8月11、12日 (月・祝、火)	121社 (122社)	218名 (178名)	・いわておかえりプロモーション(県主催) ・セミナー(岩手キャリア形成・リスクリング支援センター主催)
2	Ⅲ	令和7年12月6日(土)	165社 (141社)	148名 (129名)	2025グローバルキャリアフェア in 岩手(国際交流協会と合同開催)
3	Ⅰ	令和8年2月14日(土)	159社 (162社)	188名 (227名)	セミナー(岩手キャリア形成・リスクリング支援センター主催)
4	Ⅱ	令和8年3月15、16日 (日、月)	125社 (156社)	205名 (139名)	セミナー(岩手キャリア形成・リスクリング支援センター主催) ※前年度の数値は R6.4.27開催のフェアⅡの実績
			(68社)	(69名)	※前年度の数値は R6.10.5に北上市で開催のフェア in 県南の実績
合計			570社 (649社)	759名 (742名)	
1回当たりの平均			142.5社 (129.8社)	189.8名 (148.4名)	

(注1) 出展企業、参加者の下段( )は、前年同時期のイベントの各数値

(注2) No.1、No.4の会場はキオクシア アイーナ(いわて県民情報交流センター：盛岡市)

No.2は、No.3は、岩手産業文化センターツガワ未来館アピオ(滝沢市)

## (2) 岩手県U・Iターンフェア（県外）

東京と仙台でタレントをゲストに、セミナー等も実施して開催しました。

東京は、県が実施した全県移住フェア「THEいわてDAY」と合同で開催しました。

No.	会場	開催日	出展企業	参加者	備考
1	東京	令和7年8月30日(土)	35社 (35社)	569名 (405名)	県の「全県移住フェア」と合同開催
2	仙台	令和8年1月18日(日)	46社 (43社)	62名 (61名)	

(注1) 出展企業、参加者の下段は、前年同時期のイベントの各数値

(注2) No.1の会場は、東京交通会館（東京都千代田区有楽町）、No.2は、仙台国際センター（仙台市）

## (3) 未来のワタシゴト探究会議（新規）

県が令和4年度～令和6年度に開催した「未来のワタシゴト探究会議」は、高校生が「社会課題」や「地域課題」の視点から、岩手の大学等や企業がどのように課題解決に向けて活動をしているかを知り、岩手で学べる教育・研究内容や県内の様々な業種の企業について理解を深めるための事業です。

令和7年度から財団が本事業を引き継ぎ開催し、下表のとおり県内22校の高等学校1、2年生等820名が参加しました。

参加高校生からのアンケートでは、「話を聞いた学校や企業に興味を持ちましたか」の質問で「とても興味を持った」が56.4%、「興味を持った」が39.5%、合計で95.9%の結果となるなど、高校生の関心が高い効果があった取組となりました。

### 【参考】令和7年度未来のワタシゴト探究会議の開催結果

区分	内容
開催日時	令和7年12月24日(水) 午前の部9:50～12:25、午後の部13:50～16:25
開催会場	キオクシア アイーナ（いわて県民情報交流センター）8階
参加者	岩手県内の22の高等学校1、2年生 820名 盛岡第二高等学校 盛岡第三高等学校 盛岡第四高等学校 南昌みらい高等学校 盛岡商業高等学校 盛岡市立高等学校 盛岡北高等学校 白百合学園高等学校 花北青雲高等学校 黒沢尻北高等学校 一関第一高等学校 高田高等学校 久慈高等学校 北上翔南高等学校 軽米高等学校 西和賀高等学校 平舘高等学校 花巻南高等学校 宮古商工高等学校 岩泉高等学校 水沢商業高等学校 岩手女子高等学校
出展者	大学3校、企業・団体48社

## 2 就職活動交通費等の支援

制度内容の周知について、首都圏を中心にニュース系サイトへの広告を1ヶ月程度実施したほか、制度チラシの関係機関への送付や、財団ホームページでの周知に組みました。

交通費については岩手県U・Iターン就職フェア in 仙台への参加を対象とした場合の特例を設けて支援しました。

### 【支給実績】

単位：件数

区分		東北	東北以外	計	支給金額（円）
交通費	フェア参加	65 (48)	101 (75)	166 (123)	1,335,000 (990,000)
	職場見学等	97 (56)	157 (123)	254 (179)	2,055,000 (1,510,000)
	計	162 (104)	258 (198)	420 (302)	3,390,000 (2,500,000)
宿泊費		@ 5,000		5 (8)	25,000 (40,000)
		@ 7,500		9 (8)	67,500 (60,000)
		@ 10,000		35 (17)	350,000 (170,000)
計				49 (33)	442,500 (270,000)
合計				469 (335)	3,832,500 (2,770,000)

(注) ( ) 内は令和6年度実績

### 【参考】

#### (1) 交通費支援

##### ア 支給対象

いわて就職マッチングフェアへの参加、職場見学、個別相談会、インターンシップ等、採用試験・面接等への参加

##### イ 支給額

東北地区（岩手県を除く）から参加した場合 5,000円支給

東北地区以外から参加した場合 10,000円支給

##### ウ 仙台市開催の特例

宮城県以外の東北地区（岩手県を含む。）から参加した場合 5,000円支給

東北地区以外から参加した場合 10,000円支給

#### (2) 宿泊費支援

県外の学生が、県内企業のインターンシップ等に参加するため、2泊以上の宿泊で支払額が10,000円以上となった場合に、一律に以下のとおり支給

- ・ 支払額が10,000円以上～15,000円未満 5,000円
- ・ 支払額が15,000円以上～20,000円未満 7,500円
- ・ 支払額が20,000円以上 10,000円

#### (3) 申請回数

年度内(4月から3月)で一人2回を限度

## 3 就職支援情報の収集及び提供

### (1) インターネットによる情報発信及び求職者登録の強化

財団ホームページでの企業情報の充実を図るため、各企業に対し登録情報の随時更新や、フェア開催時に企業及び利用者に登録を働きかけたほか、利用者登録促進のため

の宣伝チラシのデザインを一新し、関係機関や大学等に送付した結果、登録企業数及び利用者登録数は増加しました。

## (2) 財団ホームページの強化

毎日Xにより、就職イベントやイベント出展企業、ラジオ番組紹介企業の情報等を発信したほか、登録企業や利用登録者に対して、定期的に活用方法のメリット等をメルマガで配信しました。また新たに7月～8月にニュース系配信サイト「OVO (オーヴォ)」により、いわて就職マッチングフェアⅡや、岩手県U・Iターン就職フェア、就職活動交通費等支援制度等の広告を実施しました。

訪問件数（月平均）、アクセス件数（月平均）は、両方とも増加しました。

### 【財団ホームページの活用状況】

区分	令和7年度実績	令和6年度実績	前年度対比	増減
登録企業数	1,236社	1,230社	100.5%	+6社
利用者登録数	5,300人	4,447人	119.2%	+853人
訪問件数（月平均）	45,608件	31,399件	145.3%	+14,209件
アクセス件数（月平均）	1,372,612件	996,464件	137.7%	+376,148件

(注) 訪問件数：当財団のホームページを閲覧した延べ回数（人、回）

アクセス件数：ホームページ中の閲覧された延べページ数（人、回、ページ）

## (3) 求職者の親世代等の目線に訴える情報の発信

県内就職を促進するためには親など家族からの後押しも有効なため、県内新聞への広告や生活情報系のテレビ・ラジオ番組への情報提供を実施したほか、2月に開催した「いわて就職マッチングフェアⅠ」では、県内テレビ放送局4社によるテレビコマーシャルを2週間実施しました。

また、新たに県内工業高校12校の生徒の学校生活、将来の夢などのインタビューを放送（6月上旬～7月上旬の平日5分番組）したラジオ番組「熱血ものづくり宣言ガンバレ! いわての工業高校生」に協賛し、財団の宣伝CM20本（20秒）の放送も実施しました。

さらに、令和3年度から県内企業の認知度向上のため始めた下記の事業も継続して実施しました。

ア 「イワテでシゴトする」（岩手日報タブロイド版）の発行

年3回（8/3、12/21、3/1）発行、県内約16万世帯に配付し8月号及び12月号については、県内の全高校生に配布しました。

イ 「いわて就職マッチングラジオ」の放送

年間240回放送し、県内企業の認知度の向上に努めたほか、財団イベント開催周知や開催結果などを発信しました。

## 4 出稼ぎ就労者の援護

### (1) 傷病等事故見舞金の給付

互助会員が就労先で災害・疾病によって死亡又は休業したときなどに傷病等事故見舞金を給付していますが、2件（花巻市、洋野町）の傷病等事故見舞金を給付しました。

【傷病等事故見舞金の給付状況】

給付の種類	事故件数	給付金額
死亡見舞金	—	
傷病見舞金	2	150,000 円
重度障害見舞金	—	
火災見舞金	—	
治療証明書交付手数料	(2)	2,550 円
遺族旅費	—	
計	2	152,550 円

(注) ( ) 内は事故件数に含めない。

(2) 「出稼ぎの葉（しおり）」の発行

互助会員に対する意識向上と健康で安全な就労を目的として、病気や災害防止の心得などを掲載した「出稼ぎの葉」は10月に発行しました。

(3) 出稼ぎ関係情報の提供

出稼ぎ関係の統計や市町村の関連施策などを載せた「岩手県における出稼ぎの実態」を県と共同で編集し7月から県のホームページで公表しました。

5 法人の運営

(1) 理事会運営

令和7年度第1回理事会の開催

日時：令和7年5月21日（水）午前11時から

場所：ホテルエース盛岡

議題：(決議事項)

第1号議案 令和6年度事業報告及び決算の承認について

第2号議案 定時評議員会の招集について

(報告事項)

令和7年度県出資等法人の運営評価について

令和7年度第2回理事会の開催

日時：令和7年11月11日（火）午後1時30分から

場所：ホテルエース盛岡

議題：(報告事項)

1 令和7年度職務執行状況について

2 令和7年度岩手県出資等法人の運営評価レポートについて

(意見交換)

テーマ「効果的、効率的な情報発信の推進方法について」

令和7年度第3回理事会の開催

日時：令和8年3月24日（水）午後1時30分から

場所：ホテルエース盛岡

議題：(報告事項)

令和7年度職務執行状況について

(決議事項)

第1号議案 令和8年度事業計画について

第2号議案 令和8年度収支予算について

## (2) 評議員会運営

令和7年度定時評議員会の開催

日時：令和7年6月9日（月）午後1時30分から

場所：ホテルエース盛岡

議題：（報告事項）

令和6年度事業報告について

（決議事項）

第1号議案 令和6年度決算の承認について

第2号議案 理事の選任について

## (3) 臨時理事会及び臨時評議員会運営

理事及び評議員の迅速な選任等を行うため、次のとおり書面決議を行いました。

会議名	決議の日	決議内容
第1回 臨時理事会	4月24日	① 評議員の選任 平純、高橋晃 ② 理事の選任 下川知佳、立花徹、高嶋裕一
第1回 臨時評議員会	5月7日	第1回臨時理事会の決議事項と同じ
第2回 臨時理事会	6月9日	① 理事長の選定 泉裕之 ② 副理事長の選定 下川知佳
第3回 臨時理事会	7月28日	① 評議員の選任 中瀬雅也
第2回 臨時評議員会	8月7日	第3回臨時理事会の決議事項と同じ

## (4) 適切な資産運用

令和7年度資金運用計画に基づき、運用年限の分散や高金利債券への買い替えなど財団にとって有利な運用を行った結果、利息収入が増加しし、売買に伴う差益も生じました。

令和7年度末時点の資産運用状況は別紙のとおりです。

## (5) 計画的、効果的な事業運営

「大学等訪問調査」やイベントごとに実施したアンケート結果に基づきイベントの実施方法や運営方法の改善に取り組みました。

主な改善内容については、令和6年度まで4月に開催していた「いわて就職マッチングフェアⅡ」を1ヵ月早めて3月に開催したほか、求職参加者の名札を色塗りにし、学生は卒業年次を記載して判別しやすくしたことなどです。

これらの改善に対する参加者、出展者のアンケート回答結果では、好意的な意見をいただきました。

また、令和7年4月1日から新しい公益法人制度が施行され、新しい令和6年会計基準の適用時期が令和7年4月1日以降開始する事業年度とされたましたが、3年間の経過期間（令和10年3月31日までに開始する事業年度までは旧会計基準の適用も可能）が設けられ、財団では令和8年4月1日～の事業年度適用に向けて、制度理解、勘定科目の設定、その他有価証券に係る償却原価法及び会計ソフトの対応などの準備を進めました。

## (6) 組織パフォーマンスの向上

職員6名体制（専務理事兼事務局長、事務局次長、就職支援コーディネーター4名）

で業務を執行し、職員の意欲や能力を引き出せるようなマネジメントに努め、組織運営を行いました。

#### (7) 運営体制の充実を図るための取組（新しい公益法人制度施行に伴う記載事項）

ア 理事の職務執行が効率的に行われることを確保するための取組

理事会では財団の取組への理解促進に必要な資料を提供したほか、11月開催の第2回理事会において、翌年度の重点取組事項に対する意見聴取を実施しました。

イ 職員の職務執行が法令及び定款に適合することを確保するための取組

職員の業務に係る能力向上を図るため、外部研修受講を支援したほか、事務局長から職員に対して、原則月1回、コンプライアンス等の訓示、職員全員による業務進捗確認の実施や、事務局長による職員面談（基本、評価、能力向上支援の3回）を実施しました。

ウ 監事監査が実効的に行われることを確保するための取組

監事による決算（4月）及び中間（10月）に係る監査結果の講評後、運営体制の充実を図るための意見交換を実施しました。

また、会計処理等の疑問点については、随時監事に相談し助言をいただきながら業務を執行しました。

## 6 設備投資の実績

### (1) 内容

ソフトウェア資産の就職支援システムについて、機能強化を図るため次の改修を実施しました。

ア ホームページでのインターンシップ情報を入手しやすくするための特設ページの新設

イ ホームページでのU・Iターン情報を入手しやすくするための特設ページの新設

ウ 利用者の利便性向上のためのホームページの改修

### (2) 支出額

1,856,000円（令和7年8月28日委託契約、委託期間R7.8.28～R8.1.23）

### (3) 資金調達方法

資金については、当初、特定資産の就職活動支援事業資産を取り崩して充てる予定でしたが、債券売却益が発生したことなどから、流動資産の普通預金を充てました。

## 7 就職活動支援事業資産の計画的な活用実績

令和6年度第3回理事会で承認された就職活動支援事業資産（8ページ参照）の令和7年度の活用状況については次表のとおりとなりました。

【就職活動支援事業資産活用実績】

単位：円

区分	活用計画	実績		残額
		項目	金額	
探究会議費用	4,000,000	会場使用料	457,820	△431,580
		企画運営委託費	2,442,990	
		バス運行委託費	1,530,770	
		小計	4,431,580	
情報発信費用	11,500,000	タブロイド版発行	7,260,000	△950,438
		マッチングラジオ放送	1,320,000	
		工業高校生紹介ラジオ協賛	220,000	
		テレビCM・SNS広告	1,705,000	
		盛岡駅構内等の宣伝広告	966,460	
		県外向けSNS広告	613,228	
		宣伝チラシ作成	365,750	
		小計	12,450,438	
合計	15,500,000	合計	16,882,018	△1,382,018

【参考】令和6年度第3回理事会（令和7年3月18日（火）開催）の承認内容

＜第1号議案＞

就職活動支援事業資産の活用について

1 提案理由

「就職活動支援事業資産の計画的な活用（以下「現計画」という。）」については、令和4年度第3回理事会（令和5年3月22日（火）開催）で、令和5年度～令和7年度の3年間の活用計画について決議いただき、これまでの2年間で、有期労働職員1名を新規雇用し、Xでの毎日の発信や、新聞、ラジオ等での情報発信強化に取り組んできたところ。

こうした中、岩手県が開催している「未来のワタシゴト探究会議（令和4年度～令和6年度）（以下「探究会議」という。）」について、当財団が新たに令和7年度から主催することとなり、令和5年3月23日に県に提出した「県出資等法人に係る中期経営計画書（令和5年度～令和8年度）」で、令和7年度及び令和8年度に主催者として開催することを公表しているところ。

この事業の実施のためには、当該年度の債券運用収入だけでは財源が不足となることから、新たな財源確保が必要となる。

また情報発信強化については、令和5年度～令和6年度の2年間の取組みにより、財団ホームページの訪問件数、登録企業数及び利用者登録数の増加などの効果が出ており、これらの効果を定着させるため、令和8年度まで活用期間を延長する必要がある。

以上のことから、特定資産の就職活動支援事業資産の活用計画について、計画の見直しを提案するもの。

2 計画の見直し（案）

就職活動支援事業資産の活用を、令和7年度から増額し、令和8年度まで延長する。

単位：千円

項目	現計画			見直し計画（案）		
	R5年度 実績額	R6年度実 績見込額	R7年度 計画額	R7年度	R8年度	備考
探究会議費用	—	—	—	4,000	4,000	新規
情報発信費用	11,752	11,757	11,500	11,500	11,500	継続
人件費	1,725	1,809	2,500	—	—	R7から不要
計	13,477	13,566	14,000	15,500	15,500	

※ 人件費の活用については、債券利息収入の増加（2年間で約3,000千円）により令和7年度からは不要となること。

(1) 「未来のワタシゴト探究会議」

当該事業費概算6,000千円のうち4,000千円（2年間）

(2) 情報発信強化

情報発信費用として11,500千円（2年間）

3 活用後の状況報告

各年度の決算報告時に、事業資産の残高状況について報告するものとする。

【参考】事業資産残額

令和6年度（R7.2.28現在） 139,593千円

以上のとおりですが、令和7年度事業報告は本文にて事業等が詳細に説明され、したがって「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要事項」は不要につき、作成していません。

令和8年5月

公益財団法人ふるさといわて定住財団

**【参考】**

**○ 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律**

(計算書類等の作成及び保存)

第二百二十三条 一般社団法人は、法務省令で定めるところにより、その成立の日における貸借対照表を作成しなければならない。

2 一般社団法人は、法務省令で定めるところにより、各事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び損益計算書をいう。以下この款において同じ。）及び事業報告並びにこれらの附属明細書を作成しなければならない。

3 計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書は、電磁的記録をもって作成することができる。

4 一般社団法人は、計算書類を作成した時から十年間、当該計算書類及びその附属明細書を保存しなければならない。

**○ 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則**

第四款 事業報告

第三十四条 法第二百二十三条第二項の規定により作成すべき事業報告及びその附属明細書については、この条の定めるところによる。ただし、他の法令に別段の定めがある場合は、この限りでない。

2 事業報告は、次に掲げる事項をその内容としなければならない。

一 当該一般社団法人の状況に関する重要な事項（計算書類及びその附属明細書の内容となる事項を除く。）

二 法第七十六条第三項第三号及び第九十条第四項第五号に規定する体制の整備についての決定又は決議があるときは、その決定又は決議の内容の概要及び当該体制の運用状況の概要

3 事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項をその内容としなければならない。